

■ 改築事業経過

- 平成21年 3月 「板橋区立学校施設あり方検討会報告書」策定
平成28年 2月 「板橋区立上板橋第二中学校改築検討会報告書」を策定
平成28年 3月 「板橋区立学校施設標準設計指針」～基本理念編～策定
平成28年 3月 「上板橋第二中学校基本構想・基本計画報告書」を策定
平成28年 7月 プロポーザル方式により「石本・楠山設計共同企業体」を選定し、「区立板橋第十小学校・上板橋第二中学校改築基本設計及び実施設計業務委託」を実施
平成29年 5月 「区立上板橋第二中学校改築基本設計書」完了
平成30年 3月 「区立上板橋第二中学校改築実施設計書」完了
平成31年 3月 解体 着手
令和 2年 1月 改築工事 着手
令和 4年 3月 上板橋第二中学校 しゅん工

■ アクセス



電車の場合

- 「小竹向原」駅下車 3番出口より 徒歩7分
- 「大山」駅より徒歩15分 東武東上線

バスの場合

- 都営バス 王78系統 (新宿駅西口 ⇄ 王子駅前)
小茂根バス停より 徒歩3分
- 国際興業 赤31系統 (高円寺駅北口 ⇄ 赤羽駅東口)
小茂根バス停より 徒歩3分

板橋区立上板橋第二中学校

〒173-0037
東京都板橋区向原三丁目1番12号
TEL 03-3956-8136 FAX 03-5995-8353
URL <http://www.ita.ed.jp/edu/kami2jh/>



令和4年3月発行

板橋区立上板橋第二中学校 施設概要





地域が支え、地域と共に学びあう教育の場をつくります。

～「4つの柱」を施設計画のコンセプトとして、上板橋第二中学校は向原中学校と統合し、新しく建替えられました。～

1 地域と連携する

- 学校を支える地域の活動拠点となる学校支援地域本部やPTA活動室を職員室近くに配置し、教職員との連携がとりやすい計画としました。
- 地域の憩いの場となる「上二テラス」や「ゆとりある遊歩道」を整備し、安全な通学路を確保するとともに学校、地域の交流の場を形成しました。
- ゆとりのある自主管理歩道の整備、擁壁の整備を行い、周辺環境の向上を図りました。

2 主体的・協働的な学びを育てる

- 教科センター方式を採用し、掲示板、教材棚、机等、教科の特色に応じた学習環境としました。
- 図書室を生徒に意識され利用しやすい学校の中心に配置し、調べ学習等、多様な学習活動の場となるメディアセンターとして整備しました。
- 生徒の多様な居場所を考慮し、休み時間に利用する水回りに自然採光を取り込む等、豊かな共有空間をつくりました。

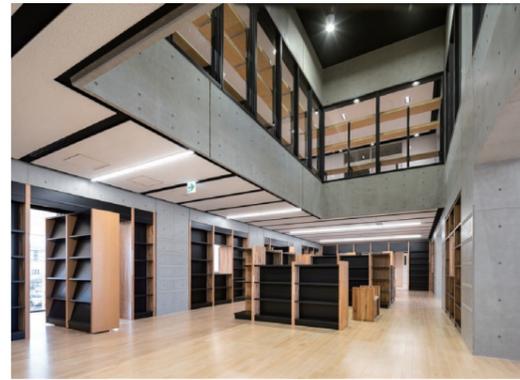
3 変化に対応する工夫

- 教育方針が変化しても学校運営が継続可能な計画とし、将来クラス数が増える場合にも対応できる計画としました。
- 多目的教室をランチルームや美術の座学授業、職員の会議室に利用するなど、複数の利用目的に応じられる設えとし、重ね使いをすることで施設を有効利用できる計画としました。
- 災害時にも避難所として対応できるよう、炊き出し時を考慮し、給食室と体育館を近接させるとともにマンホールトイレや防災備蓄倉庫を設置し、災害の発生後からも対応できるような計画としました。

4 安全・安心をつくる

- 敷地周囲には自主管理歩道に加えて敷地の一部を利用したオープンスペース等を設け、視界を良好にして安全性を高めました。
- シンプルでバランスの良い構造スパンとし、合理的な構造計画で安全性と施設の長寿命化を考慮しました。
- 車いす利用者用EV、だれでもトイレの設置やサイン計画など、だれもが利用しやすい施設づくりを行いました。

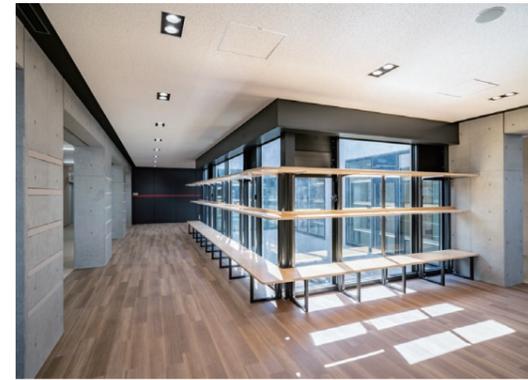
自由度の高いユニット型教科センター方式が多彩な学びを支え導く



7 3F メディアセンター

「メディアセンター」は、ゆとりあるスペースを確保するとともに、学校図書館とパソコン室の機能を有する空間とすることで、多様な媒体を通して情報が得られる場所としています。学校図書館の本で「調べ学習」を行うことや、パソコンやタブレットPCを利用したグループ学習等にもフレキシブルに対応できるようにしています。

施設の中央部に「メディアセンター」を計画することで、生徒の移動の中心拠点とし、思い思いに本に親しめ、また、交流できる場として多様な居場所を用意しています。



8 4F 教科メディア

3階の教科構成を数学、理科の「理系ゾーニング」とし、4階の教科構成を英語、社会、国語の「文系ゾーニング」とする計画としました。特に、「調べ学習」と関わりの大きい社会をメディアセンターの上部に配置し、学習の連携を高める工夫をしました。各教科に共通して、中央に光庭のある教科メディアを中心とした構成とし、建物内部に自然光を導く計画としています。



6 2F 職員来客用玄関

職員来客用玄関には、板橋区と連携事業を行っている大東文化大学書道研究所の高木 厚人先生に揮毫を依頼した校名板を設置しました。

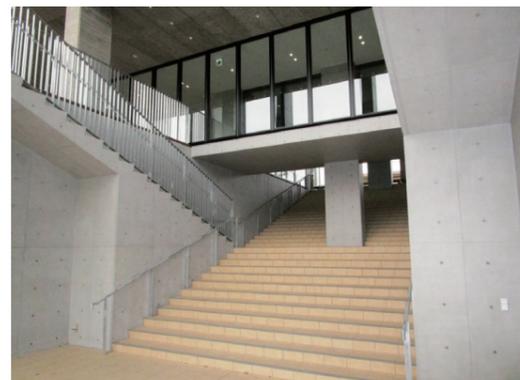
来校者の動線を職員来客用玄関から入り、主事室、事務室の前を通りながら職員・管理ゾーンにアクセスする計画としたことで、防犯性の向上を図りました。



5 2F 正門

正門からの昇降口は2か所の出入口とし、出入口に近接して階段を各々設置することで、登下校時の生徒がスムーズに移動できるよう配慮しました。また、主事室を昇降口に面して配置し、正門の出入りについて目が届きやすい計画としました。

生徒が主に出入りする正門を西側道路の2階からのアプローチとし、車両が出入りする北門を北側道路の1階からのアプローチとすることで歩車分離をおこない、生徒の安全を確保する計画としています。



3 1F 大階段

旧向原中学校で、象徴的だった校舎とグラウンドをつなぐ大階段を継承し、新校舎の中心に計画しました。

階段としての役割だけでなく、生徒の交流の場として、また、大階段を挟んで職員室と保健室を配置し、生徒の安全を確保する計画としています。



4 2F 上二テラス

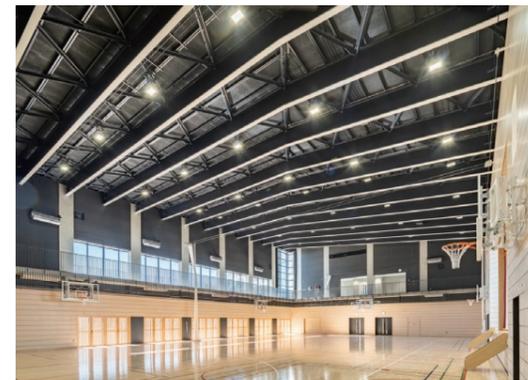
西側の自主管理歩道等には植栽を設けて、街並みに緑の潤いをもたらし、北西や南東に「上二テラス」や「ポケットパーク」を作ることで、通学時の安全性向上や地域との連携を図りました。また、避難所対応として家庭科室と「上二テラス」を行き来できるようにするとともに、「上二テラス」に「かまどベンチ」を設置することで災害時に炊き出しを行えるようにしました。



2 1F 上二中の軌跡

平成30年4月に統合した旧向原中学校の思い出を展示し、歴史を継承するメモリアルコーナー「上二中の軌跡」を設置しました。

「上二中の軌跡」を地域開放エリアに面して設置することで、地域の方や卒業生が来校した際に、立ち寄りやすい配置としています。



1 1F アリーナ

地域開放を行うアリーナ、武道場等を地域開放入口付近に集約して計画し、地域開放時のセキュリティ区画を行いやすい計画としました。また、災害時の炊き出しなども考慮して給食室と同じ階に設置することで避難所運営時のサポート強化を高めました。

アリーナ南にはグラウンドやアリーナの活動を見渡すことができる「応援バルコニー」を設置し、生徒の活動の様子を確認したり、行事等で活用できるように工夫しています。

所在地	板橋区向原三丁目1番12号
建物用途	中学校
設計・監理	株式会社　石本建築事務所　東京オフィス
施工	
 建築・環境整備	前田建設工業株式会社　東京建築支店
 電気設備	渡部・アイコウ建設共同企業体
 空調換気	第五・前野建設共同企業体
 給排水衛生	池松・シルバー建設共同企業体
 昇降機	日本エレベーター製造株式会社
設計期間	
 基本設計	平成28(2016)年9月～平成29(2017)年5月
 実施設計	平成29(2017)年6月～平成30(2018)年3月
工事期間	
 解体	平成31(2019)年3月～令和　2(2020)年1月
 校舎棟	令和　2(2020)年1月～令和　4(2022)年1月
 環境整備	令和　3(2021)年7月～令和　4(2022)年3月

■ 建築・設備概要

【**建築概要**】

敷地面積	12,132.56㎡
建築面積	4,203.93㎡
延床面積	9,611.94㎡
建ぺい率	34.65%（許容70.00%）
容積率	77.31%（許容200.00%）
構造	（校舎棟）鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（アリーナ棟）鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
規模	（校舎棟）地上5階　（アリーナ棟）地上2階
最高高さ	19.501m
道路幅員	南4m、東4m、北4m、西7.15m
用途地域	第一種中高層居住専用地域
防火指定	準防火地域
高度地区	第二種高度地区（絶対高さ22m）

施設詳細	1階　音楽室、武道場、調理室、アリーナ
	2階　主事室、職員室、美術室、多目的特別教室、家庭科室、技術室、特別支援教室、学校支援地域本部、PTA活動室
	3階　メディアセンター（図書室）、数学教室、理科教室、理科実験室、ホームベース（以下、「HB」という）
	4階　英語教室、社会教室、国語教室、HB
	5階　プール更衣室、屋外プール、プール準備室

【**主な設備**】

- ◆**電気設備**
 - 受変電設備:屋外型キュービクル(トップランナー2014変圧器第二次判断基準適合)
 - 太陽光発電設備:単結晶系シリコン太陽電池　設備容量22kW
 - 照明設備:LED照明器具、人感センサー
- ◆**空調・換気設備**
 - ガス式ヒートポンプマルチ空調方式:GHP室内機
 - 電気式ヒートポンプマルチ空調方式:EHP室内機
 - 全熱交換換気設備

- 個別空調方式
- 個別換気設備
- 個別加湿設備
- ◆**衛生設備**
 - 給水:直結、加圧給水方式
 - 給湯:局所給湯方式(潜熱回収型ガス給湯器、電気温水器)
 - 排水:屋内分流方式、災害用マンホールトイレ
 - ガス:給湯器、コンロ、空調熱源、厨房調理機器
- ◆**昇降機設備**
 - エレベーター:13人乗　積載荷重900kg　車椅子対応トラック付　×1基
 - 小荷物専用昇降機:積載荷重300kg　×1基

- ◆**その他設備**
 - 屋内消火栓設備、消火器、プールろ過設備、校庭散水設備、雨水貯留設備、防火水槽、雷保護設備、構内情報通信網設備、構内交換設備、テレビ共同受信設備、時計表示設備、インターホン・トイレ呼出設備、火災報知設備、拡声設備、非常押釦設備、映像音響設備、防災無線設備、監視カメラ設備、機械警備設備、舞台機構・舞台幕設備、舞台照明設備、舞台音響設備、電力等計測設備

--	--	--	--	--	--

【**主な外部仕上げ**】

- 屋根**　アスファルト防水+押えコンクリート(BI-1工法)、一部アスファルト露出防水(D-1)、フッ素ガルバリウム鋼板(t=0.45mm)
- 外壁**　コンクリート面防水形複層塗材E、一部コンクリート打放しの上、低汚染型高耐候性フッ素樹脂クリヤー
- 庇**　　コンクリート面ウレタン塗膜防水(X-2工法)、一部アルミ既製品
- ランチテラス**　アスファルト防水上+再生木デッキ
- 建具**　アルミサッシ(カラー)、鋼製建具(DP塗装)
- ポーチ**　磁器質タイル(t=9.0mm)

【**主な内部仕上げ**】

- 各教科教室・HB**
 - 床:ビニル床タイル(ワックスフリー、木目)
 - 壁:石膏ボード+EP-G、木質掲示板
 - 天井:岩綿吸音板
- 各メディアスペース**
 - 床:ビニル床タイル(木目)
 - 壁:石膏ボード+EP-G、スチールパネル
 - 天井:岩綿吸音板及びEPパターン張り
- 音楽室(第一、第二)**
 - 床:ビニル床タイル(ワックスフリー、木目)(第二は一部段床形式)
 - 壁:シナ有孔積層合板、木質掲示板
 - 天井:岩綿吸音板
- 技術室**
 - 床:ビニル床シート(ワックスフリー)
 - 壁:石膏ボード+EP-G、木質掲示板
 - 天井:岩綿吸音板
- 美術室**
 - 床:ビニル床シート(ワックスフリー)
 - 壁:石膏ボード+EP-G、木質掲示板
 - 天井:岩綿吸音板
- 職員室**
 - 床:OAフロア+ビニル床タイル
 - 壁:石膏ボード+EP-G
 - 天井:岩綿吸音板

- 校長室**
 - 床:複合フローリング
 - 壁:石膏ボード+織物クロス、一部ソフトコルク掲示板
 - 天井:岩綿吸音板及びEPパターン張り
- 特別支援教室**
 - 床:耐衝撃性ビニル床シート(ワックスフリー、木目)
 - 壁:石膏ボード+EP-G
 - 天井:岩綿吸音板
- 家庭科室**
 - 床:抗菌ビニル床シート(ワックスフリー)
 - 壁:石膏ボード+ビニルクロス、一部ソフトコルク掲示板
 - 天井:岩綿吸音板
- 多目的特別教室**
 - 床:複合フローリング
 - 壁:石膏ボード+EP-G、一部日光杉化粧合板、一部スチールパネル
 - 天井:岩綿吸音板及びEPパターン張り
- 理科実験室(第一、第二共)**
 - 床:耐薬品ビニル床シート
 - 壁:石膏ボード+EP-G、ソフトコルク掲示板
 - 天井:岩綿吸音板
- メディアセンター**
 - 床:複合フローリング
 - 壁:石膏ボード+EP-G、一部スチールパネル
 - 天井:岩綿吸音板及びEPパターン張り、一部吹き抜け部グラスウールボード
- 武道場**
 - 床:乾式二重床+複合フローリング
 - 壁:シナ有孔合板
 - 天井:グラスウールボード
- アリーナ**
 - 床:乾式二重床+複合フローリング
 - 壁:(1階)シナ合板、ウレタンクッション（2階）グラスウールボード、システム壁+シナ有孔積層合板
 - 天井:木毛セメント板+EP
- 昇降口**
 - 床:磁器質タイル
 - 壁:RC打ち放し仕上げ
 - 天井:岩綿吸音板
- トイレ**
 - 床:防汚性ビニル床シート
 - 壁:化粧ケイカル板、石膏ボード+EP-G
 - 天井:石膏ボード+EP

【**家具・インテリア概要**】

- 教科教室・HB廻り**
 - 登校して最初に立ち寄るHBでは、家具を木の温もりが感じられる木目調で統一し、窓際にベンチや掲示スペースをつくることで、学校生活の起点となるように意図した。HBと連続につながる教科教室は、床は木目調とし、壁は木質掲示板を多用したインテリアとすることで、多くの掲示物が貼れる機能性と、暖かみを併せ持つ、落ち着いたきのある雰囲気を作り出している。
- 教科メディアスペース廻り**
 - 各教科毎にテーマカラーを定め、各教科ゾーン入口にサインで教科カラーを表現している。各教科の特色を生かせるように光庭又は吹き抜け部に可動式の掲示棚、ホワイトボード仕様の壁面、柱に設けたスリット掲示、ピックアップレールといった仕掛けを用意することで、運営をする中で教科の特色を作り込める設えとしている。また、各教科の先生が各エリアで作業を進められ

るように、教科職員室を併設し、放課後の生徒対応など、生徒の主体的な学びを高めるレイアウトとなっている。

- アリーナ廻り**
 - 入口床は磁器質タイル、壁面はコンクリート打放しといった素材感を感じられる仕上げとしており、「上二中の軌跡」と称して、上板橋第二中学校及び旧向原中学校の変革を掲示するコーナーを配置している。屋根は対角線上に頂部を設けることで建物高さを抑えながら、ステージ空間を敷地境界側に配置することで、近隣に対する圧迫感や学校生活音に配慮している。アリーナの多くは短手方向にステージを作るが、今回長手方向に計画することで、全校集会などで生徒とより近い距離を作ることができ、自然採光が得られやすい、明るいアリーナとなっている。
- 「居室」を意識したトイレ廻り**
 - 生徒が主に利用するトイレは、これまでの暗く閉鎖された学校のトイレの概念ではなく、居室と同等に計画し、自然採光を取り入れた、明るくオープンな設えとなっている。また、各階にだれでもトイレを設置し、低層階は来校者利用を想定して機能性を高め、上層階はLGBTに配慮したものでサイン工事を含め、それぞれの利用者に合わせた設えとしている。

- 学びの中心のメディアセンター**
 - 教科のまとめり同士をつなぐ、校舎の中心に図書室機能を備えたメディアセンターは、調べ学習を行なえるように、タブレットの利用環境を整えている。また、書架は日光産の杉を使い、温かみを感じられるインテリアとしている。そのほかにも、昇降口側や校庭側に面してガラス張りにすることで、いつも明るい場所づくりとしながら、同時に外からは生徒が学ぶ風景が映しこまれ、上板橋第二中学校らしい学校の表情を作っている。

- 移動空間も発見や楽しさにつなげる工夫**
 - 教科センター方式は休憩時間になると教室を移動するが、少しの移動空間でも発見や楽しさを感じられるような設えとしている。メインの階段室は、外部に開かれた明るい移動空間とし、上階では天気が良い日に富士山を望むこともできる。また、メディアセンターに導かれるような、3階から4階につながる大階段や、メディアセンターの一部の書架を回転させて、メディアセンターを横断するような動線を生み出したりと、学校生活に彩りや変化を与えられる設えとなっている。

- サイン計画**
 - ユニバーサルデザインに配慮し、自分の居場所を認識しやすいグラフィックの工夫など、分かりやすいピクト表示や英語併記としている。特に上階トイレでは、LGBTに配慮して、色による区別ではなく、大きなサインにて分かりやすく、だれでもトイレと一体的に表現をすることで、心理的に使いにくく感じられていた、だれでもトイレも使いやすい雰囲気としている。また、各教科の配色も色弱等視覚に障害がある方でも間違えない様に同系色を同じ階に使用せず、また方角も分けるように計画するなど、多様性に配慮したサイン計画としている。それらを区のサイン計画ガイドラインに基づき設置している。

- 地域を彩る緑と日あたりの良い広い校庭**
 - 拡幅された歩行空間にシラカシやサクラ、ハナミズキといった様々な樹木が彩りを与える豊かな外部空間を設えた。昇降口から校庭へは、敷地高低差を利用した大階段が生徒を導き、日当たりの良い校庭へとつながっている。直線で100m走ができる広い校庭、それを囲むように設えた2階の応援テラスによって運動会や部活動、体育の授業、地域活動などの幅を広げる「地域の庭」を作り上げてる。